

2. アニメ脚本資料の劣化・消滅防止に関する事業—デジタルと証言保存の必要性

①デジタル化保存の必要性

【サムネイル用・表紙のデジタル化例】



昭和期の脚本は紙質が悪いため劣化が激しく、黄ばみ、酸化、カビ跡も多い。ガリ版印刷のためインクが退化する危険もある。

脚本の中には、企画意図や主題歌の歌詞が記載されているものもあり、絵コンテや直しの書き込みがある脚本も多く貴重な資料といえる。

一方、キャストやスタッフや制作公開年度などの記載が少なく、追加の調査が必要な脚本も多い。

②脚本家の証言録取の緊急性・著作権典拠の必要性

アニメ史の継承のため、テレビアニメ草創期の脚本家やスタッフからの証言は大変重要である。作家の高齢化に伴い、貴重な証言録取、公開は喫緊の課題である。

また脚本家は複数の筆名を持つ人が多く、筆名からの著作権者の特定が困難な場合もある。作品と筆名をデータベース化することは二次利用の際に有益で必要な作業である。



辻真先氏(別筆名:牧 薩次 桂 真佐喜)



鈴木良武氏(別筆名:五武冬史氏)

【新規インタビュー収録】

令和6(2024)年度は大野俊也氏、小林英造氏(オンライン収録)、金春智子氏(予定)3名の録取を実施。視聴の利便性を検討しテロップを増やすなどの編集を行っている。



大野俊也氏(聞き手:小林雄次氏)



小林英造氏(聞き手:小林雄次氏)

3. アニメ脚本データベース構築・発信準備事業—アニメ脚本データベース構築の必要性・緊急性（非常時の文化政策の有用性）

アニメに関する関心は高くデータベース化、国際発信の需要が高まっている。

しかしアニメ動画については、映像、原作マンガとの関係、声優、音楽など権利が複雑に絡んでおりデータベース上での公開が難しい。一方、アニメ脚本については、原作者・脚本家の了承によりデータベース公開が比較的安易である。作品のあらすじは、アニメ作品に携わる脚本家チームに依頼して新たに作成することで権利問題をクリアし、データベースの内容については、著作権専門事例を多く手掛ける弁護士・福井健策氏の監修を受けたうえで公開している。

令和元(2019)年10月の台風被害による川崎市市民ミュージアムの閉館、コロナ禍による資料所蔵機関等の閉鎖などの非常事態を経て、資料のデジタル保存およびオンライン利用による文化発信の有用性は高まっている。

本事業の「アニメ脚本と脚本家のデータベース」では、収集した資料の書誌データを Web 公開し、作品の詳細情報を発信している。

■収集・管理資料総数：10,437 件（うちアニメ脚本 9,789 件）

■データベース搭載数掲載件数 10,344 件（複本除外）。

アニメ：9,221 件、特撮：694 件、まんが原作：381 件、海外アニメ：48 件

タイトル数：709 作品

■作品紹介（あらすじ）

作品紹介文の制作数（日本語）：500 件（令和 6（2024）年度：60 件追加予定）

英訳済：370 件（令和 6（2024）年度：60 件追加）

① 脚本の寄贈から書誌公開までの手順

- ・寄贈された台本を種類別に分ける。⇒「放送」「映画」「演劇」「アニメ」など
- ・同じタイトルのものをまとめる。
- ・可能な限り年代順に並べる。
- ・書誌情報データをエクセルに入力。
- ・行先別に管理番号を付けシール添付した中性紙封筒（または OPP 袋）に一冊ずつ入れ、段ボール箱に保管。
- ・入力されたデータは整理後「脚本データベース」に掲載。<http://db.nkac.or.jp/>
アニメ分野は「アニメの脚本と脚本家のデータベース」に掲載。
<http://animedb.nkac.or.jp/>

② 書誌入力マニュアル（他ジャンルの放送脚本の説明含む）

・「分類」

台本：脚本の形式になっているもの

資料：脚本以外（制作発表資料や企画書）

・「メディア」

その作品が放送されたメディア「テレビ」か「ラジオ」を記入。

まれに「映画」や「舞台」もあるので、脚本に記されている

「制作」を見て判断する。

例）フジテレビ→「テレビ」 東宝株式会社→「映画」

・「ジャンル」

書かれている話を役者が演じるものであれば、「ドラマ」と記入。
それ以外の「報道」「ドキュメンタリー」「お笑い」などは「構成」
アニメ脚本の場合は「アニメ」と記入。
ジャンルが「映画」のものは内容を問わず「映画」と記入。

・「サブジャンル」

脚本に「特撮」、「時代劇」と、内容について書かれていた際に入力。

・「枠名」

「世界名作劇場」「カルピス子ども劇場」「木曜ゴールデンドラマ」など

・「シリーズ名」

「アニメ文芸シリーズ」「向田邦子シリーズ」など

・「タイトル」

（仮題）もしくは（仮）と書かれている場合はそのまま記入。

・「タイトルカナ」

タイトルを打つとカナが出る数式がすでに入力されているが、
「運命」を「サダメ」と読ますような特殊な読み仮名がふつてある場合は、
「作品情報・備考」の欄に正式な読み仮名をカナで入力。

・「サブタイトル」

「前編」「後編」と分かれている場合はサブタイトル欄に記入。

・「放送回」

連続した回数の台本が1冊の中にある場合は「1～5」、
ばらばらの回数が1冊の中にある場合は「1・3・5」と記入。
週数が入っている場合には「1～6（1週）」と週数も入れる。
「回」や「話」はつけず、数字のみ入力。
回数ではなく、「一夜」「二夜」と書かれている場合も回数として記入。

・「放送日」

年代は西暦で入力。元号で書かれている場合は西暦早見表で確認する。
年月日のいずれかが分からない場合にはその箇所を(?)にする。
全く分からない場合は空欄のままでもよい。

・「放送局」「制作」

「放送局」欄には台本表紙に書かれている放送局名を記入。
「制作」欄には放送局名と制作会社名を両方入力する。

・「作家」「原作者」「原作名」

表紙にない場合は、台本2～5ページくらいに記載されているので、
項目別に記されていた通りに記入。

・「出演」

配役表の俳優名を全て記入。
ナレーションなど特別な役割が書かれている場合には、
欄の末尾に（ナレーション）などの役割をつけた俳優名を記す。
例）（ナレーション）森繁久弥、（語り）加藤道子

・「演出/監督」

表紙にない場合は、台本2～5ページくらいに記載されている名前を記入。
演出ではなく（担当）とある場合のみ（担当）のあとに名前を記入。

・「プロデューサー」

複数名いる場合は「、」で区切って全員記入。

所属会社名は名前の前に入れて「：」で区切る。

「プロデューサー」の記載がない場合は「制作」の名前を記入。

「企画」「統括」「CP」「エグゼグティブプロデューサー」もこの欄に該当。

例）（企画）小山薫堂 （プロデューサー）ABC：小林正太郎 電通：竹田正哉、

・「音楽」

劇伴（ドラマ中に流れる音楽）の作曲者。

主題歌の作曲者は「主題歌」欄に記載。

（音楽プロデューサー）などは「スタッフ備考」欄に記入。

・「美術」

美術・デザイン欄に記載されている人名を記入。

（美術進行）（美術アシスタント）などは「スタッフ備考」欄に記入。

・「考証・指導」

「殺陣」「関西ことば指導」「時代考証」「監修」など、

考証・指導担当スタッフを記入。（稀にキャスト欄に記載あり）

例）（時代考証）天野隆子

・「スタッフ備考」

上記とは異なる「撮影」「照明」「カメラ」「音響」「美粧」「小道具」

などの担当者をすべて記入。複数名いる場合は「、」で名前を区切る。

例）（カメラ）西川治、東山一郎、（小道具）間宮次郎、（美粧）大塚晶子

・「主題歌」

曲名、作曲家名、作詞家名、編曲者名、歌手名などをすべて入れる。

例）（主題歌）今夜はオールライト、（作詞）売野雅勇、（作曲）館ひろし

（編曲）神林早人

・「作品情報・備考」

表紙に「タイトル」「枠」「シリーズ」に該当しない内容を記入。

例）「芸術祭参加作品」「開局50周年記念番組」など。

タイトルやサブタイトルに手書きで訂正がある場合には、その情報も記入。

例）サブタイトル手書きで「〇〇〇〇」と訂正など

■その他注意事項

- ・まったく同じ台本が2冊以上あった場合、一冊分を入力した後、同じ情報をコピーして冊数分入力して「状態」欄に「W」と入力。
- ・台本に写真、住所、電話番号等が記されたメモが多数挟み込まれているが、台本の内容変更や撮影指示に関する内容以外のものは台本から外して保管。
- ・データ入力作業で知り得た情報（特に個人の電話番号）を写し取り、ブログ、ツイッター等で拡散したりしないことを説明する。

③ データベースへのデータ掲載状況

項目	記入例	Web 公開
管理番号	1 資料ごとにナンバリング。外袋のシールに表示される。	○
旧管理番号	入力時に一時的に付与。分類後に新しい管理番号を付与。	×
合本	合本製本された脚本にマーク	○
分類	台本または資料、原稿	○
メディア	ラジオ、テレビ、映画、舞台、レコード・CD・カセット、ビデオ・DVD、web 配信、ゲームなど発表された媒体	○
ジャンル	ドラマ、構成、アニメ、映画、海外ドラマ、海外構成、人形劇、演劇、海外アニメ、海外映画、CM など	○
枠名	連続テレビ小説、大河ドラマ、金曜劇場、火曜サスペンス劇場、東芝日曜劇場など、固定された放送時間枠の名称	○
シリーズ名	シリーズ・街、ドラマ・人間模様、6 月の花嫁シリーズなど、内容に共通性のある番組群の名称。	○
タイトル	番組の表題	○
タイトルカナ	番組表題のカナ書き	○
タイトル英語化	ローマ字で記載するにとどまり、翻訳には至っていない	○
サブタイトル	副題。各回につけられた題名。	○
台本バージョン	初稿、二稿、決定稿、改訂稿など脚本・台本の稿数。	○
劣化	紙の酸化など劣化が激しいものに○	×
状態	表紙の外れ、紙の破れ、コピー台本、規格外の大きさなど記載	×
放送回	台本に記載している放送回	○
放送日	台本に記載された放送日	○
放送局	放送局	○
制作	放送局の他、制作会社など	○
作家名	脚本家、放送作家名	○
原作者	台本に原作、原案の記載があるもの	○
原作名	原作題名	○
出演	H28 年まで冒頭の 3 名記載。H29 年より全員記入	○
作品情報・備考	提供会社名、芸術祭などの受賞歴や、タイトル・サブタイトルが実際の放送と異なっている等、項目外の作品情報	×
寄贈元/属性	寄贈者／寄贈者が作家、制作者、会社などを記載	×
寄贈日	受け入れ日	×
権利処理	寄贈確認の書類送付の有無	×
個人情報	個人情報の有無、被覆作業の有無	×
演出/監督	演出、ディレクター、監督等	○
プロデューサー	プロデューサー、制作、企画	○
音楽	劇伴の作曲者、音楽監督等	○
美術・デザイン	美術・デザイン担当者。美術関連スタッフはスタッフ備考に記載	○
考証・指導	時代考証、殺陣指導等	○
スタッフ備考	上記以外のスタッフをすべて記載	○
主題歌	台本に記載されたもののみ	○
尺 (分)	放送された時間数 (30 分、2 時間等)	○
放送時間	放送時間帯の表示 (8:15～8:30 等)	○
あらすじ	台本に記載のあるものは転記。 その他、ライターに依頼し 600 字～1000 字程度作成	○

④ データベースの改変

令和元年(2019)年度、英語版サイトを公開。令和 3 (2021) 年度、モバイル版の公開を行なった。令和 4(2022) 年度は、アニメのほかドラマ作品の中から特撮作品を抽出しデータベースに追加。脚本家のプロフィールページを追加した。令和 5 (2023) 年度は作品のジャンルを付与し、より検索しやすいように改変を行っている。そのほか、インタビューについては書起しを順次継続して追記。

■英語版サイト例

サイトの右上の「日本語」「English」の選択ボタン日本語と英語の切り替えができるようになっており、英語版も公開している。Wikipedia を自動的に表示する機能をつけている。

【詳細ページ/日本語】

アニメ脚本と脚本家のデータベース

検索するキーワードを入力

☒ 同義語を含む

トップへ戻る

サイボーグ009
太平洋の亡霊

作家	辻真先
原作	曾根王
原作者	石森章太郎
放送日	[1968/5/21]
放送回	16
演出/監督	荒川哲郎
かな	サイボーグ009
ローマ字	SAIBOGU009
分類	台本
メディア	テレビ
ジャンル	アニメ
収録先	倉庫保管中

あらすじ

『サイボーグ009』 天才漫画家、石ノ森章太郎が1960年代に『少年サンデー』に連載を始め、人気を博し、その後、東映動画によって映画版(モノクロ)として制作されたのが映画化される。物語は不良少年、島村ジョーが少年院から脱走した時、世界征服を企む『ブラック・ゴースト団』によって捕らえられ、サイボーグとして改造される。『ブラック・ゴースト団』が改造したサイボーグは全員『00ナンバー』と呼ばれ、ジョーを含めて全員で9名。高も人種もバツ(バ)に選出され、それぞれに異なる能力を授けられる。彼らが改造された目的が世界征服と知ったことで、自分たちが犠牲として扱われる事に反抗を感じ、ギルモア博士を筆頭に『ブラック・ゴースト団』から逃げ出し、世界征服を止めようとする事を目指す。『00ナンバー』のサイボーグ戦士は、自分たちが機械なのか、人間なのかという疑問を抱えながら、『ブラック・ゴースト団』と戦いを続けるストーリーが読者の共感を博て、その後はテレビシリーズ化され、リメイク版も数多く作られる。物語の決着を得た。原作者である石ノ森章太郎が亡くなり、現在も未完の大作として、各時代に合った方法で映画化されたりノベライズ化になったりと様々な媒体で現在に至るまで繰り返し制作されている。今後新しい形でこの作品は常に世の中の記憶には必ず登場してくるだろう。

Wikipedia

サイボーグ009

『サイボーグ009』（サイボーグゼロゼロナイン）は、石ノ森章太郎による日本のSF漫画。
[Wikipedia記事へ](#)

出典: Wikipedia
編集履歴: 2020/05/18 01:11:55

【詳細ページ/英語】

Anime-Screenplay and screenwriter database

Input search words..

☒ enable synonym

top 100 pages

SAIBOGU009

Writer	TSUJII Masaki
On Air date	[1968/5/21]
Broadcasting times	16
Reading	
Classification	Script
Media	TV
Genre	Animation
Transfer destination	Stored in warehouse

Synopsis

Saibogu 009 (Cyborg 009)A remarkably talented cartoonist, Shotaro I shinomori, started to publish the series in Shonen Sunday in the 196 0s, and gained popularity. Later, a movie version (monochrome) pro duced by Toei Oga was cinematized. The story starts when Jo Shima mura escapes from a juvenile detention center, and is converted into a cyborg after being caught by the Black Ghost Group which conspires to dominate the world. All cyborgs converted by the Black Ghost Group are called "Number 00", and there are nine of them including Jo; they are selected from various countries and races and are individually give n different abilities. Since knowing they have been converted into cybor gs for the purpose of dominating the world they feel resistant to being t reated as weapons, so they run away from the Black Ghost Group with a Dr. Gilmore as a leader, and decide to stop their domination of the world. The story about cyborg warriors numbered 00 continuing to fight with the Black Ghost Group while anguishing over whether they are ma chines or humans appealed to young people and was later serializd f or TV, and many remakes have been made. Before concluding the st ory the original author Shotaro Ishinomori died, so the story is still c in emalized or novelized as an incomplete masterpiece in a way that fits each era. It has been repeatedly produced by various media to the pre sent date. This work will always and surely be remade at turning points in the world in a new form in the future.

*The information in [] is reference information by our group's own survey, and it is not what is described in the original of the bibliography.
*Regarding movies and plays, the description of the broadcast date column is "Publication Date" "Perfor

4. 活用・発信の連携体制による社会的効用

① Japan Content Catalog (JACC®) との連携 / ジャパンサーチへの参加

書誌データは、映像産業振興機構が運営する JACC サーチと連携。JACC サーチを通じ、ジャパ ンサーチにも書誌データの提供公開中。

② 教育活用・社会活用

- ・創作活動を目的とした教育活用（コロナ禍で休止中。次年度改訂版を実施予定）

「ドラえもん」「不思議駄菓子弁天堂」などを執筆する脚本家チームに依頼し、新たな道具 や不思議な駄菓子を創作するワークショップを検討中。

- ・高齢者向けの「回想法」として、バラエティ番組や脚本を活用した講座を 2022 年に実施。 今年度は、高齢者施設を併設する仙台富沢病院・藤井昌彦教授のレクチャーを受け、脚本や まんがを利用した療法の試作について検討を行った。

③ 関連資料の所蔵機関との連携研究

関連資料を所蔵する施設へヒヤリングを継続実施している。

- ・ 京都国際マンガミュージアム <https://kyotomm.jp/>
- ・ 国際日本文化研究センター <https://www.nichibun.ac.jp/ja/>
- ・ 東映太秦映画村・映画図書室 <https://www.toei-eigamura-library.com/>
- ・ 京都府立図書館 <https://www.library.pref.kyoto.jp/>
- ・ 北九州市漫画ミュージアム <https://www.ktqmm.jp/>
- ・ 松永文庫 <https://www.matsunagabunko.net/>

【見学/資料調査のみ】

- ・ 司馬遼太郎記念館 <https://www.shibazaidan.or.jp/>
- ・ 池田文庫 <https://www.hankyu-bunka.or.jp/ikedabunko/>
- ・ 松本清張記念館 <https://www.seicho-mm.jp/>

④現物の展示公開

■放送ライブラリー（横浜）の主催による脚本展示 <https://www.bpcj.or.jp/>

【上映会会場での展示】

「昭和～平成 名作刑事ドラマ上映会」にて脚本を展示



【脚本企画のミニ展示】

展示スペースに、テーマを決め3か月ごとに二十数冊の脚本を展示し、展示作品の説明文を冊子にして配布。

- ・ 2023年12月～2024年5月『いざ立て！ 昭和のロボットアニメ!!』
- ・ 2024年5月～8月『追悼企画・山田太一と脚本アーカイブズ』
- ・ 2024年8月～12月『芸術の秋！～ドラマが描く孤高の才能～』（参考パネル、下図）
- ・ 2025年1月～4月『西田敏行追悼特集』



芸術の秋！～ドラマが描く孤高の才能～

芸術の秋！～物語が描く孤高の才能～

優れた才能を持ち、華やかな脚光を浴びる芸術家は、古くから物語の主人公として描かれてきた。NHK 連続テレビ小説でも、作家（『娘と私』『うず潮』『芋たこなんきん』）、音楽家（『純情きらり』『エール』）、漫画家（『マー姉ちゃん』『ゲゲゲの女房』）、美術家（『まんさくの花』『スカーレット』）など、芸術家が登場する作品は数多い。

実在の芸術家の自伝などを原作にしたドラマには、『まんが道』（藤子不二雄）のように若い頃から努力を重ね才能を開花させるまでを描くものや、『裸の大將』（山下清）、『TAR0の塔』（岡本太郎）のように、天才ゆえに起こる周囲との軋轢や騒動を描くもの、『序の舞』（上村松園）、『生きて行く私』（宇野千代）、『恋の華 白蓮』（柳原白蓮）のように、芸術家のパッションが引き起こすスキャンダラスな男女関係を描くものなどがある。

オリジナルドラマでは、『川の流れはバイオリンの音』『街角』のように、芸術に携わる主人公の感性が、街や人との出会いによって磨かれていくものや、『プリマダム』『歓喜の歌』など主婦がバレエや合唱に打ち込み新たな生きがいを見つける姿を描いたもの、一般人とは別世界に住む憧れの存在として描いた『ミセスシンデレラ』、その道を極めたいと願う者にとって芸術への道は恋愛の障害となりうることを描いた『めぐり逢い』、また『先生のお気にいり！』『ウラ声ボーイズ』『とめはねっ！ 鈴里高校書道部』など学校や部活動を舞台に若者が挫折を乗り越えて成長する姿を見せる青春ドラマなど、芸術をテーマに多彩な作品が生み出されている。

漫画作品では、演劇を志す天才少女が主人公の『ガラスの仮面』、音楽を通して中学生の挫折と恋愛を描いた『四月は君の嘘』、美大受験予備校から東京藝大入学を果たす若者が主人公の『ブルーピリオド』などはアニメ、ドラマ、映画版などが作られ、幅広い層に支持されている。ストーリーだけでなく芸術そのものの素晴らしさも堪能できる作品を、秋の夜長にぜひ楽しんでいただきたい。

【事業の流れ】

『アニメ脚本・脚本家データベース』概要図

